

ひょうご講座

平成29年度募集要項

平成29年度から「21世紀文明研究セミナー」の科目を統合し、リニューアルして開講します

防災・復興

地球環境

地域創生

国際理解

政治・経済

平成29(2017)年9月開講

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

webで確認

ひょうご講座

検索

<http://www.hyogo-al.jp/kouza/>

ひょうご講座2017とは

目 的

21世紀文明を切り拓く高度な研究成果や専門的知識を得たいという県民の学習ニーズに応えるため、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構のネットワークを活用し、テーマ性を明確にした大学教養レベルの連続講座を開講します。

分 野

防災・復興…迫りくる南海トラフ地震に備える

地球環境…地球温暖化を前に私たちは何をなすべきか

地域創生…人口減少・高齢社会下の地域づくり

国際理解…混迷する国際情勢を読み解く

政治・経済…人口減少時代の国家・社会像を探る

開 催 時 期

平成29年9月12日～12月1日

開 催 時 間

平日の18:30～20:00

開 催 場 所

兵庫県民会館
(神戸市中央区下山手通4-16-3)

定 員

各分野とも約40名

※お申し込み受付は先着順とし、
定員になり次第締めきります。

受 講 料

15,000円(1分野)



防災・復興 迫りくる南海トラフ地震に備える

日本列島は災害多発時代を迎えたといわれるなか、今後30年以内の発生確率が70%程度とされる南海トラフ地震の発生が懸念されています。南海トラフ地震は、死者が最大で32万人を超えると想定されるなど、広域にわたり大規模な被害をもたらす点で困難ともなりうる災害です。また、それに先立ち内陸直下型地震が頻発する可能性もあります。一方で、津波避難の徹底や耐震化をはじめ、ハード・ソフトの対策を講じることにより、被害を大幅に減らすこともできます。地震のリスクや被害を正しく理解し、いかに備えるべきか、安全安心な減災社会の実現に向けた方策について学びます。

開催日	テーマ	担当教員
① 9/12(火)	南海地震の姿と予測可能性	橋本 学 京都大学防災研究所教授
② 9/19(火)	南海トラフ地震の災害史を知る	寒川 旭 (国研)産業技術総合研究所名誉リサーチャー
③ 9/26(火)	迫りくる南海トラフ巨大地震に備える	金田 義行 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強化研究センター長・特任教授
④ 10/ 3(火)	南海トラフ地震がもたらす最悪経済シナリオと対策	永松 伸吾 関西大学社会安全学部教授
⑤ 10/10(火)	長周期地震動の影響と対策	福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター教授・センター長
⑥ 10/18(水)	地域防災力向上のための災害情報の活用	浦川 豪 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授
⑦ 10/24(火)	津波避難について考える	矢守 克也 京都大学防災研究所教授
⑧ 11/14(火)	大規模広域災害の被災者支援 一命をつなぐ一	阪本真由美 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授
⑨ 11/21(火)	大規模広域災害の復旧・復興 一地域を守る一	牧 紀男 京都大学防災研究所教授
⑩ 11/28(火)	東日本大震災の被災地に学ぶ 一南海トラフ地震を見据えて一	姥浦 道生 東北大学大学院工学研究科准教授

地球環境 地球温暖化を前に私たちは何をなすべきか

世界の平均地上気温は、1880(明治13)年から2012(平成24)年までの間に1℃近く上昇しています。これは、化石燃料の消費など人間の活動に伴う温室効果ガスの排出増によるところが大きいと考えられます。地球温暖化の影響は、生物活動の変化や、水資源や農作物への影響など、自然生態系や人間社会にすでに現れています。将来、地球の気温がさらに上昇すれば、より深刻な問題が生じると予測されています。地球温暖化の現状と私たちの暮らしにもたらす影響を多面的に検証するとともに、持続可能な未来社会を切り拓くために、私たち一人ひとりが今、何をなすべきかを学びます。

開催日	テーマ	担当教員
① 9/13(水)	地球温暖化の原因と将来予測	鈴木 胖 (公財)地球環境戦略研究機関関西研究センター所長
② 9/20(水)	温暖化と六甲山の植生	服部 保 兵庫県立大学名誉教授
③ 9/27(水)	温暖化と水産業 一瀬戸内海のイカナゴやノリはどうなる?一	反田 實 兵庫県立農林水産技術総合センター・水産技術センター技術参事
④ 10/ 4(水)	農業の行方 一温暖化適応技術の開発一	牧 浩之 兵庫県立農林水産技術総合センター・農業技術センター主席研究員
⑤ 10/11(水)	地球温暖化による健康影響	小野 雅司 (国研)国立環境研究所客員研究員
⑥ 10/25(水)	台風・豪雨災害に関する気候変動影響評価と適応に向けて	中北 英一 京都大学防災研究所教授
⑦ 11/ 8(水)	パリ協定後の国際気候変動交渉	田村 堅太郎 (公財)地球環境戦略研究機関関西研究センター副所長
⑧ 11/10(金)	地球温暖化と食品ロス	中野 加都子 甲南女子大学人間科学部教授
⑨ 11/22(水)	パリ協定の下で国内政策はいかにあるべきか	新澤 秀則 兵庫県立大学経済学部教授
⑩ 11/29(水)	再生可能エネルギーの行方	鈴木 胖 (公財)地球環境戦略研究機関関西研究センター所長

地域創生 人口減少・高齢社会下の地域づくり

少子高齢化の進展や人口減少、東京一極集中の是正などの構造的な課題に対応し、将来にわたり持続可能な地域社会を構築するため「地域創生」の取り組みが進められています。

若者から高齢者まで全ての人が、それぞれの居住地域で生涯にわたり豊かな暮らしをおくるには、何が求められるのか。これからの活力ある地域づくりのあり方について、実践事例も交えながら学びます。

開催日	テーマ	担当教員
① 9/12(火)	転換期の地域政策：地域創生の視点	加藤 恵正 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授
② 9/19(火)	地域の稼ぐ力と雇用力	中村 良平 岡山大学大学院社会文化科学研究科・経済学部教授
③ 9/26(火)	「小規模集落元気作戦」から「INAKA応援隊」-兵庫県のこころみ-	三宅 康成 兵庫県立大学環境人間学部教授
④ 10/3(火)	増田寛也著『地方消滅』を読み解く	阿部 茂行 同志社大学政策学部教授
⑤ 10/10(火)	若い人たちの力が輝く魅力ある多自然地域の拠点都市形成方策	平田 富士男 兵庫県立淡路景観園芸学校(兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科)教授
⑥ 10/13(金)	陥没(へこん)で、たまるか!-熊本地震震災をバネにした地域づくり-	徳野 貞雄 一般社団法人トクノスクール・農村研究所代表理事
⑦ 10/17(火)	「観光」その歴史的意義と現代的課題	山崎 正雄 神戸山手大学現代社会学部教授
⑧ 10/31(火)	人口減少下の都市政策：EUの経験から	阿部 大輔 龍谷大学政策学部准教授
⑨ 11/7(火)	広域連携と都市間ネットワークの可能性：コンパクトシティを批判的に考える	阿部 大輔 龍谷大学政策学部准教授
⑩ 11/14(火)	持続可能な地域の実現に向けた協働のまちづくり	新川 達郎 同志社大学大学院総合政策科学研究科教授

国際理解 混迷する国際情勢を読み解く

最近の国際情勢は混迷の度を深めています。東アジアでは朝鮮半島が緊張の度合いを高めるとともに、南シナ海や東シナ海をめぐる各国の主張が対立しています。アメリカではいわゆるトランプ現象に象徴されるように社会の分断、格差の拡大などが顕在化しています。ヨーロッパでは難民問題に端を発し、英国のEU離脱通知、ポピュリズムの伸長などが生じています。中東ではISやシリアをめぐる問題など不安定な状況が続いています。

グローバル化がもたらす光と影など今日の国際社会を取り巻く諸課題を明らかにするとともに、今後のあるべき国際関係について考えます。

開催日	テーマ	担当教員
① 9/15(金)	人間の安全保障と平和構築	栗栖 薫子 神戸大学大学院法学研究科教授
② 9/22(金)	中東・環インド洋地域の行方	中村 覚 神戸大学大学院国際文化科学研究科准教授
③ 9/29(金)	膨張する中国の行方と日中関係	伊原吉之助 帝塚山大学名誉教授
④ 10/6(金)	トランプ大統領と今後の日米関係及び国際情勢の行方	箕原 俊洋 神戸大学大学院法学研究科教授
⑤ 10/13(金)	欧州危機と反グローバリズム	久保 広正 摂南大学経済学部長・教授/神戸大学名誉教授
⑥ 10/20(金)	有志連合の政治学	多湖 淳 神戸大学大学院法学研究科教授
⑦ 10/27(金)	領土・海洋をめぐる紛争と解決への道筋	玉田 大 神戸大学大学院法学研究科教授
⑧ 11/17(金)	グローバル社会の光と影	野田 昌吾 大阪市立大学大学院法学研究科教授
⑨ 11/24(金)	ポピュリズムとは何か	山本 圭 立命館大学法学部准教授
⑩ 12/1(金)	欧州における移民難民問題	坂井 一成 神戸大学大学院国際文化科学研究科教授

政治・経済 人口減少時代の国家・社会像を探る

少子高齢化が進むなか、経済の低成長時代が続く一方、社会保障費の増大が財政を圧迫するなど厳しい経済財政運営を迫られています。第4次産業革命ともいわれるテクノロジーの進展を前に、これまでの発想を転換し、新たな製品やサービスを開発するなどわが国の強みを活かすとともに、女性や高齢者も活躍できる社会づくりなど活力ある未来を構築することが強く求められています。

持続可能な社会に向け、これからの国家戦略や経済財政運営について考えます。

開催日	テーマ	担当教員
① 9/14 (木)	将来負担の増大と持続可能な財政運営	長峯 純一 関西学院大学総合政策学部教授
② 9/21 (木)	異次元金融緩和と成長戦略	地主 敏樹 神戸大学大学院経済学研究科教授
③ 9/25 (月)	現代社会における競争と協働	鈴木 純 神戸大学大学院経済学研究科准教授
④ 10/ 2 (月)	縮小都市の持続可能性を考える	矢作 弘 龍谷大学特任教授
⑤ 10/16 (月)	テクノロジーの進展と経済産業政策	山下紗矢佳 神戸山手大学現代社会学部専任講師
⑥ 10/23 (月)	女性の活躍を促す仕組みづくり	横山由紀子 兵庫県立大学経営学部教授
⑦ 10/30 (月)	戦後政治と田中角栄	下村 太一 神戸学院大学法学部准教授
⑧ 11/ 6 (月)	超高齢社会下の雇用と企業の成長	佐竹 隆幸 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授
⑨ 11/13 (月)	これからの地方自治体運営	松並 潤 神戸大学大学院国際協力研究科教授
⑩ 11/20 (月)	ソーシャルメディアの成長と民主主義	田畑 暁生 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授

[ご留意事項]

「地域創生」分野を希望される場合は、「防災・復興」分野と「国際理解」分野の開催日が一部重なっていますので、ご留意下さい(下記の講義カレンダー参照)。

ひょうご講座2017講義カレンダー

(凡例)

- 防災：防災・復興分野
- 環境：地球環境分野
- 地域：地域創生分野
- 国際：国際理解分野
- 政経：政治・経済分野
- ①：回数

9月	防災	環境	地域	国際	政経
10日					
11日					
12日	①		①		
13日		①			
14日					①
15日				①	
16日					
17日					
18日					
19日	②		②		
20日		②			
21日					②
22日				②	
23日					
24日					
25日					③
26日	③		③		
27日		③			
28日					
29日				③	
30日					

10月	防災	環境	地域	国際	政経
1日					
2日					④
3日	④		④		
4日		④			
5日					
6日				④	
7日					
8日					
9日					
10日	⑤		⑤		
11日		⑤			
12日					
13日			⑥	⑤	
14日					
15日					
16日					⑤
17日			⑦		
18日	⑥				
19日					
20日				⑥	
21日					
22日					
23日					⑥
24日	⑦				
25日		⑥			
26日					
27日				⑦	
28日					
29日					
30日					⑦
31日			⑧		

11月	防災	環境	地域	国際	政経
1日					
2日					
3日					
4日					
5日					
6日					⑧
7日			⑨		
8日		⑦			
9日					
10日		⑧			
11日					
12日					
13日					⑨
14日	⑧		⑩		
15日					
16日					
17日				⑧	
18日					
19日					
20日					⑩
21日	⑨				
22日		⑨			
23日					
24日				⑨	
25日					
26日					
27日					
28日	⑩				
29日		⑩			
30日					
12月	防災	環境	地域	国際	政経
1日				⑩	

お申し込み手続きについて

「ひょうご講座2017」をお申し込みの際は、以下をよくお読みになったうえで、お申し込みください。

なお、「地域創生」分野を希望される場合は、「防災・復興」分野と「国際理解」分野の開催日が一部重なっています。お申し込みの際は十分ご留意下さい。

申込方法

〈FAX・郵送による申込の場合〉

ご希望の分野を選択し、裏面の「受講申込書」に必要事項を記載してください。

FAX 078-262-5122

郵送先 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6階
(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター 交流推進課 ひょうご講座担当

〈インターネットによる申込の場合〉

下記ホームページから、24時間いつでもお申し込みが可能です。

ひょうご講座URL <http://www.hyogo-al.jp/kouza/>

締め切り

- **締切日：9月5日(火) 必着**
- 先着順で受け付け、定員になりしだい締め切ります。



受講料のお支払いについて

- 申込み受付後、「受講決定書」とともにお送りする郵便局の「払込取扱票」で、期日までに受講料をお支払いください。現金持参によるお支払いはできませんのでご注意ください。
- 受講料は前払いしていただきます。ご入金後にご連絡は原則いたしません。
- 受講料振込後にキャンセルされる場合は、9月5日(火)〔申込締切日〕までに限り、ご指定の講座に受講料を返金いたします(以降のキャンセルについては、返金できませんのでご了承ください)。なお、金融機関所定の振込手数料は、受講者の負担とさせていただきます。
- 入金をもって、正式なお申し込みとなります。入金確認後「受講者証」を発送いたします。受講当日は、この「受講者証」をお持ちください。

その他

- 都合により、担当教員・テーマ等を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 台風等により休講となる場合があります。その場合は、代替日を設けます。休講の場合は、ひょうご講座ホームページに掲載するほか、FAXまたはE-mailにより、ご連絡します。

ひょうご講座2017 受講申込書

【FAX送信先：078-262-5122】

ふりがな		性別	年齢 (いずれかを○で囲んでください)			
氏名		男・女	10代	20代	30代	40代
			50代	60代	70代	80代以上
連絡先	〒	—			<input type="checkbox"/> ご自宅	<input type="checkbox"/> 勤務先
電話	—	—	FAX	—	—	
E-mail	@					
	<input type="checkbox"/> 急な連絡先は、Eメールのみでよい (休講等、急を要する際の連絡は、Eメールのみでよい場合、 <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。)					

※各欄は、楷書ではっきりとご記入ください。

該当する申込欄にを入れてください。

※「地域創生」分野を希望される場合は、「防災・復興」分野と「国際理解」分野の開催日が一部重なっています。

ご希望の分野にを入れる前に十分確認して下さい。

申込	分野名
<input type="checkbox"/>	防災・復興分野 — 迫りくる南海トラフ地震に備える
<input type="checkbox"/>	地球環境分野 — 地球温暖化を前に私たちは何をなすべきか
<input type="checkbox"/>	地域創生分野 — 人口減少・高齢社会下の地域づくり
<input type="checkbox"/>	国際理解分野 — 混迷する国際情勢を読み解く
<input type="checkbox"/>	政治・経済分野 — 人口減少時代の国家・社会像を探る

ご参考までに以下の項目にご回答下さい(該当するものにをお願いします。)

職種	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 研究員 <input type="checkbox"/> 団体職員(NPO除く) <input type="checkbox"/> NPO職員 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 自営業・自由業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他()
受講経験	<input type="checkbox"/> 以前に、ひょうご講座を受講したことがある <input type="checkbox"/> 以前に、21世紀文明研究セミナーを受講したことがある

この募集要項は、どこで入手されましたか？

<input type="checkbox"/> 主催者からのダイレクトメール <input type="checkbox"/> 県・市町の施設〔 〕 <input type="checkbox"/> 生涯学習施設(いなみの学園など)〔 〕 <input type="checkbox"/> 友人の紹介 <input type="checkbox"/> 参加したイベントで〔 〕 <input type="checkbox"/> その他〔 〕
--

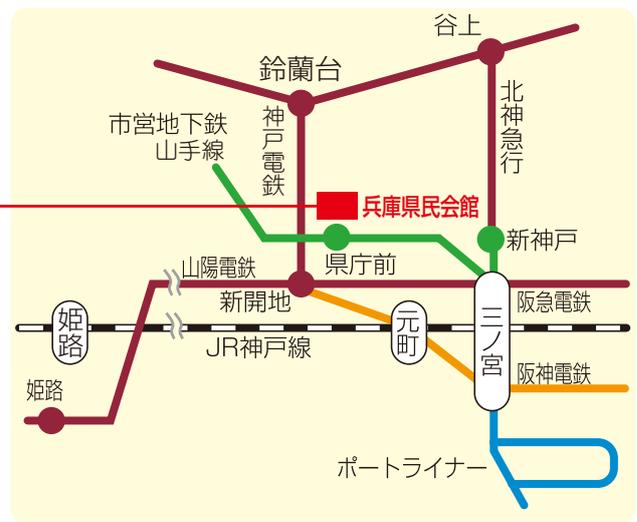
ご協力ありがとうございました。

※本申込書に記載された個人情報は、当講座に関する連絡のほか今後当機構が主催・後援等を行う事業などのご案内の目的で使用させていただきます。

開催場所

兵庫県民会館

兵庫県神戸市中央区下山手通4-16-3 TEL.078-321-2131



- 神戸市営地下鉄・山手線「県庁前」駅下車、東出口1から右へ50m
- JR・阪神「元町」駅下車、北へ徒歩約7分

お申し込み・お問い合わせ先

(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター
交流推進課 ひょうご講座担当

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

人と防災未来センター 東館6階

TEL: 078-262-5713 FAX: 078-262-5122

E-mail: kouza@hyogo-al.jp